

資格等による加点及び免除措置申請書 ※併願する方向け

エントリー 受付番号										「小中一貫した教育」推進枠： 希望する ・ 希望しない
フリガナ										
氏名				生年月日	昭和・平成	年	月	日生		

加点及び免除措置を申請する項目の申請欄に○をつけ、実施要領に掲げる必要書類を添えて提出してください。

加点の上限は合計で10点です。 ※「スポーツ・芸術特別加点」は、別の申請書を使用してください。

項目	受検区分・教科	資格等の内容	加点	免除となる検査	申請
英語	小学校・幼稚園(通常)と小学校・幼稚園(特別支援)の併願	・実用英語技能検定準1級以上の合格者 ・TOEFL iBT 72点以上取得者 ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560点以上取得者	10	-	
	中学校・高等学校(通常)の英語と中学校・高等学校(特別支援)の英語の併願	・実用英語技能検定1級の合格者 ・TOEFL iBT 95点以上取得者 ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1845点以上取得者		第2次検査の実技検査	
海外勤務等	小学校・幼稚園(通常)と小学校・幼稚園(特別支援)の併願	在外教育施設等や海外の民間企業等で2年以上の英語を使用した勤務経験のある者	10	-	
	中学校・高等学校(通常)の英語と中学校・高等学校(特別支援)の英語の併願	海外の大学で2年以上の英語を使用した留学経験のある者			
海外青年	全受検区分	独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する青年海外協力隊の隊員として、2年以上の派遣実績を有する者	10	-	
英語以外の外国語	全受検区分	中学校、高等学校教諭の普通免許状(英語以外の外国語)	5	-	
		日本語教育機関の告示基準(平成28年7月22日出入国在留管理庁策定)第1条第1項第13項の規定に該当する者			
		大学又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者			
		大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上習得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者			
		公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者			
		学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420単位時間以上受講し、これを修了した者 日本語教育機関認定法に基づき、登録日本語教員の登録を受けた者			
複数免許等所有	小学校・幼稚園(通常)と小学校・幼稚園(特別支援)の併願	中学校教諭の普通免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)	10	-	
		高等学校教諭の普通免許状(数学・理科・保健体育・英語)	5		
	中学校・高等学校(通常)と中学校・高等学校(特別支援)の併願	小学校教諭の普通免許状	10		
		中学校教諭の普通免許状(美術・技術・家庭) ※受検教科以外のみ	5		
上記の両組み合わせ	中学校教諭の普通免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・英語) ※受検教科以外のみ	5			
	高等学校教諭の普通免許状(商業) 特別支援学校(盲学校、聾学校又は養護学校)教諭の普通免許状				
ICT活用	全受検区分	情報処理技術者試験(独立行政法人情報処理推進機構主催)基本情報技術者試験合格者(第2種情報処理技術者試験合格者)又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者	10	-	
国際バカロレア教育	中学校・高等学校(通常)と中学校・高等学校(特別支援)の併願	・文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局が実施する国際バカロレアのミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)またはディプロマ・プログラム(DP)に係る教科別ワークショップ(WS)のカテゴリー1を修了した者で、資格が有効の者 ・国際バカロレアのワークショップリーダーの資格を有する者	10	-	